

平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社スーパー大栄

コード番号 9819

URL <http://www.superdaiei.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)松島 三秋

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長

(氏名)阪本 博美

(TEL)093(602)2770

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	15,783	△8.4	△238	—	△260	—	△514	—
27年3月期第3四半期	17,237	△2.5	△477	—	△493	—	△643	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△57.43	—
27年3月期第3四半期	△71.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	10,226	1,868	18.3
27年3月期	10,204	2,393	23.5

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 1,868百万円 27年3月期 2,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	—	—

平成27年11月30日発表の「株式会社イズミによる株式会社スーパー大栄の簡易株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、平成28年2月15日付で上場廃止、平成28年2月18日に株式会社イズミの完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成28年2月期の配当予想はいたしていません。

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年2月29日)

平成27年11月30日発表の「株式会社イズミによる株式会社スーパー大栄の簡易株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、平成28年2月15日付で上場廃止、平成28年2月18日に株式会社イズミの完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成28年2月期の業績予想は取りやめることといたしました。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年2月期3Q	8,972,000株	27年3月期	8,972,000株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	12,424株	27年3月期	10,126株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年2月期3Q	8,960,555株	27年3月期3Q	8,963,353株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年11月30日発表の「株式会社イズミによる株式会社スーパー大栄の簡易株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、平成28年2月15日付で上場廃止、平成28年2月18日に株式会社イズミの完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成28年2月期の業績予想は取りやめることといたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	7
(業績の推移)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策や金融政策の効果もあり企業収益や雇用情勢は改善し緩やかな回復基調となりました。しかしながら、一方では不安定な国際情勢や中国経済の景気減速等の下振れリスクもあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

小売業界におきましては、激しい価格競争が続く中、食の安全、安心への対策に伴う費用の増加や人手不足に伴う労働力のコストアップ等、以前にも増して厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で、当社はイズミグループとしてのスケールメリットやノウハウを共有し、商品・資材仕入れの原価低減、惣菜部門の直営化による店舗全体の収益力アップ、ショッピングカード「ゆめカード」及び電子マネー「ゆめか」のカード戦略によるお客様の利便性向上や固定客の増加を図る等、あらゆる面においてシナジー効果を発揮してまいりました。

また、ソフト面では「お客様のために尽くすこと」を合言葉に接客サービスの向上に力を入れ、社員教育などの内部研修を計画的に実施して組織の活性化と業務の効率化に努めてまいりました。その結果、SM店舗やD&D店舗においては、期待通りの活性化効果を出すことができたものの、生鮮比率の高いフレッシュ8の店舗においては、販売力の強化やコスト削減等の経営効率化に取り組みましたが、計画通りの投資効果を発揮することが出来ませんでした。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は15,783百万円(前年同四半期比8.4%減)、営業損益は238百万円の営業損失(前年同四半期は477百万円の営業損失)、経常損益は260百万円の経常損失(前年同四半期は493百万円の経常損失)となり、四半期純損益は減損損失67百万円の計上等により514百万円の四半期純損失(前年同四半期は643百万円の四半期純損失)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同四半期増減率(%)
	(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品	10,173	59.0	8,851	56.1	△13.0
一般食品	5,443	31.6	5,475	34.7	0.6
日用雑貨	480	2.8	373	2.4	△22.3
その他	1,009	5.9	949	6.0	△5.9
計	17,107	99.3	15,650	99.2	△8.5
その他の事業	130	0.7	132	0.8	1.6
合計	17,237	100.0	15,783	100.0	△8.4

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の総資産は、前期末比22百万円増加し、10,226百万円となりました。

流動資産は、前期末比439百万円増加し、2,290百万円となりました。これは、その他の中の繰延税金資産が38百万円減少したものの、現金及び預金が287百万円、その他の中の未収入金が93百万円、商品が84百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前期末比416百万円減少し、7,936百万円となりました。これは、器具及び備品などの有形固定資産が255百万円、差入敷金・保証金などの投資その他の資産が149百万円減少したことなどによります。

流動負債は、前期末比138百万円増加し、4,765百万円となりました。これは、買掛金が323百万円減少したものの、短期借入金が440百万円、その他の中の未払消費税等が87百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前期末比408百万円増加し、3,592百万円となりました。これは、退職給付引当金が108百万円減少したものの、長期借入金が542百万円、その他の中の長期繰延税金負債が15百万円増加したことなどによります。

純資産は、前期末比524百万円減少し、1,868百万円となりました。これは、四半期純損失514百万円を計上したことなどによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月30日発表の「株式会社イズミによる株式会社スーパー大栄の簡易株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、平成28年2月15日付で上場廃止、平成28年2月18日に株式会社イズミの完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成28年2月期の業績予想は取りやめることといたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	979,358	1,267,116
売掛金	31,690	36,147
商品	680,054	764,806
その他	160,385	222,424
流動資産合計	1,851,488	2,290,495
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,058,394	2,988,510
土地	2,900,189	2,900,189
その他(純額)	1,177,767	991,993
有形固定資産合計	7,136,352	6,880,693
無形固定資産	178,394	167,209
投資その他の資産	1,038,073	888,397
固定資産合計	8,352,820	7,936,300
資産合計	10,204,308	10,226,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505,313	1,182,040
短期借入金	1,510,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	720,000	868,000
未払法人税等	24,057	16,884
賞与引当金	62,000	14,000
ポイント引当金	7,000	4,768
店舗閉鎖損失引当金	11,905	9,163
その他	786,313	720,291
流動負債合計	4,626,589	4,765,149
固定負債		
長期借入金	1,932,000	2,474,000
退職給付引当金	660,426	552,081
役員退職慰労引当金	111,009	99,524
その他	481,252	467,332
固定負債合計	3,184,687	3,592,938
負債合計	7,811,277	8,358,087

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,798,236	1,798,236
資本剰余金	1,693,008	543,625
利益剰余金	△1,149,383	△514,619
自己株式	△1,955	△2,349
株主資本合計	2,339,906	1,824,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53,125	43,816
評価・換算差額等合計	53,125	43,816
純資産合計	2,393,031	1,868,708
負債純資産合計	10,204,308	10,226,796

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	17,237,903	15,783,131
売上原価	13,045,554	11,729,065
売上総利益	4,192,348	4,054,065
営業収入	288,504	238,655
営業総利益	4,480,853	4,292,721
販売費及び一般管理費	4,957,966	4,531,348
営業損失(△)	△477,112	△238,626
営業外収益		
受取利息	2,301	2,007
受取配当金	4,091	4,275
その他	7,723	4,997
営業外収益合計	14,116	11,279
営業外費用		
支払利息	27,661	30,707
その他	2,765	2,641
営業外費用合計	30,426	33,349
経常損失(△)	△493,423	△260,696
特別利益		
固定資産売却益	1,529	-
投資有価証券売却益	-	985
受取保険金	2,352	2,107
特別利益合計	3,881	3,093
特別損失		
減損損失	-	67,104
固定資産除却損	97,243	34,019
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20,910	2,770
リース解約損	4,356	39,929
その他	9,020	23,916
特別損失合計	131,531	167,741
税引前四半期純損失(△)	△621,073	△425,344
法人税、住民税及び事業税	12,032	12,541
法人税等調整額	9,945	76,734
法人税等合計	21,977	89,275
四半期純損失(△)	△643,050	△514,619

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(業績の推移)

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期 第3四半期	19,611	△6.2	34	—	12	—	△76	—
25年3月期 第3四半期	18,399	△6.2	127	271.0	110	756.0	75	—
26年3月期 第3四半期	17,671	△4.0	26	△78.9	8	△92.5	△30	—
27年3月期 第3四半期	17,237	△2.5	△477	—	△493	—	△643	—
28年2月期 第3四半期 (当第3四半期)	15,783	△8.4	△238	—	△260	—	△514	—
	7期連続減収		2期連続営業損失		2期連続経常損失		3期連続四半期純損失	